

第 12 回学会大会予稿集目次

(○ : 発表者 発表 10 分 質疑 5 分)

10 月 22 日(金) 午前 関西大学高槻ミュージーズキャンパス

A 会場 (M706)

A-1 風水害(1)防災情報システム(1) (座長 栗城 稔) 09:35~10:35

A-1-1 水防体制に関するアンケート調査

～昭和 60 年調査、平成 10 年調査との比較～ …………… 1

○ 小林 肇 (国土交通省国土技術政策総合研究所)

A-1-2 道路浸水深の自動観測とその利用 …………… 7

○ 中根 和郎 ((独)防災科学技術研究所)

長坂 俊成 ((独)防災科学技術研究所)

白田裕一郎 ((独)防災科学技術研究所)

林 晃 (藤沢市)

鈴木 壮一 (藤沢市)

藤原 健治 (藤沢市)

矢口 修司 (藤沢市)

A-1-3 X バンド雨量レーダの試験運用による提供画像について …………… 13

○ 栗城 稔 ((財)河川情報センター)

岡山 和生 ((財)河川情報センター)

横森 源治 ((財)河川情報センター)

A-1-4 地方自治体の水害対応の意思決定を支援する地理空間情報の

相互運用性を有する情報システムの構築 …………… 19

○ 田口 仁 ((独)防災科学技術研究所)

白田裕一郎 ((独)防災科学技術研究所)

長坂 俊成 ((独)防災科学技術研究所)

A-2 住民避難 風水害(2) (座長 片田 敏孝) 10:45~11:45

A-2-1 洪水リスク軽減策に関する社会的イメージ

～情報提供戦略の違いがもたらす影響～ …………… 25

○ 及川 康 (群馬大学広域首都圏防災研究センター)

片田 敏孝 (群馬大学広域首都圏防災研究センター)

木村 秀治 (国土交通省中部地方整備局)

A-2-2 水害時の避難判断を促進する情報提示内容についての実験的検討 …………… 31

○ 稲葉 緑 (電気通信大学大学院情報システム学研究科)

田中 健次 (電気通信大学大学院情報システム学研究科)

- A-2-3 防災無関心層へのコミュニケーション・チャンネル開拓の試み
ー根室市落石漁協における
漁船の津波沖出し避難の取り組みを事例にー……………37
- 片田 敏孝 (群馬大学広域首都圏防災研究センター)
 - 村澤 直樹 (群馬大学大学院工学研究科)

- A-2-4 水害リスクにおける発生頻度の表示方法とリスク認知特性
ー住民および大学生を対象としたアンケート調査結果ー……………43
- 榎村 康史 (熊本大学大学院自然科学研究科)

B 会場 (M804)

B-1 防災訓練 防災情報システム(2) (座長 近藤 伸也) 09:35~10:35

- B-1-1 消防防災GISを活用した防災訓練の実施について
ー宮城県石巻市の事例ー……………49
- 齋藤 泰 ((財)消防科学総合センター)
 - 小松 幸夫 ((財)消防科学総合センター)

- B-1-2 静岡県災害対策本部における災害情報の共有と可視化への挑戦
データベースとGISの導入による……………53
- 内山 敬介 (静岡県危機管理部)
 - 岩田 孝仁 (静岡県危機管理部)

- B-1-3 平常時と災害時の連続性を考慮した
自治体情報システムによる図上運用実験……………59
- 浅野 耕一 (秋田県立大学システム科学技術学部)

- B-1-4 目標管理型災害対応と戦略的な広報を身につけることをねらいとした
図上訓練の開発……………65
- 近藤 伸也 (東京大学生産技術研究所)
 - 永松 伸吾 (関西大学社会安全学部)
 - 川西 勝 ((株)読売新聞大阪本社)
 - 安富 信 (大阪読売サービス株式会社)

B-2 風水害(3)防災情報システム(3) (座長 天野 篤) 10:45~11:45

- B-2-1 2009年2月からの「デジタル放送研究会」成果概要……………71
- 天野 篤 (アジア航測株式会社)
 - 藤吉洋一郎 (大妻女子大学)
 - ほか第3次デジタル放送研究会員

- B-2-2 2009年台風8号(Morakot)台湾南部豪雨災害現地視察報告
 ～未曾有の災害に対して災害情報に何ができるか～……………77
- 三島 和子 (セコム IS 研究所)
 - 藤吉洋一郎 (大妻女子大学)
 - 布村 明彦 (財団法人河川情報センター)
 - 天野 篤 (アジア航測株式会社)
 - 中村 功 (東洋大学)
 - 加藤 宣幸 (株式会社建設技術研究所)
- B-2-3 水害情報と地上デジタルテレビ
 —京都市水害危険地域における住民調査を中心に— ……………83
- 中村 功 (東洋大学)
 - 藤吉洋一郎 (大妻女子大学)
 - 干川 剛史 (大妻女子大学)
 - 天野 篤 (アジア航測)
 - 谷原 和憲 (日本テレビ)
- B-2-4 気象情報のあり方に関する研究
 ～社会情報としての気象注警報の
 発表基準のあり方について～ ……………89
- 竹之内健介 (三重県)

10月22日(金) 午後 関西大学高槻ミュージックキャンパス

A会場 (M706)

- A-3 防災対策・計画(1) (座長 越山 健治) 13:00～14:15
- A-3-1 自助意識の高さは具体的な防災対策活動につながるか？
 —兵庫県三木市での住民意識調査から— ……………95
- 有馬 昌宏 (兵庫県立大学応用情報科学研究科)
- A-3-2 重要文化財建造物の防火計画における火災覚知情報の把握……………101
- 廣井 悠 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻)
- A-3-3 減災対策・災害復旧における地域継続マネジメントの導入に向けた
 建設業の事業継続計画(BCP)策定の提案と実践……………107
- 磯打千雅子 (香川大学大学院工学研究科)
 - 有友 春樹 (日本ミクニヤ株式会社東京支店)
 - 白木 渡 (香川大学危機管理研究センター)
 - 井面 仁志 (香川大学工学部信頼性情報システム工学科)
- A-3-4 岩手・宮城内陸地震から2年、被災企業のBCP策定の状況……………113
- 中野 晋 (徳島大学環境防災研究センター)
 - 粕淵 義郎 (徳島大学環境防災研究センター)

- A-3-5 近年の地方自治体の災害対策本部運営状況に関する調査報告……………119
○ 越山 健治 (関西大学社会安全学部)

A-4 土砂災害 (座長 沢野 伸浩) 14:25~15:25

- A-4-1 2009年7月山口豪雨災害時の地域住民の対応……………125
○ 清水 誠 (長崎大学大学院)
高橋 和雄 (長崎大学工学部)
中村 聖三 (長崎大学工学部)

- A-4-2 2009年7月山口豪雨災害時の組織の対応……………131
○ 高橋 和雄 (長崎大学工学部)
清水 誠 (長崎大学大学院)
中村 聖三 (長崎大学工学部)

- A-4-3 局地的大雨における土砂災害警戒情報の運用実態について
～長野県における事例を通じた課題の抽出と考察～……………137
○ 藤本 済 (長野県建設部砂防課)

- A-4-4 Flow Accumulation を用いた中山間地における豪雨災害の被害予測に関する考察
一平成22年7月16日の豪雨による
庄原市の水害を事例にして一……………141
○ 沢野 伸浩 (NPO 法人基盤地図情報活用研究会)
干川 剛史 (NPO 法人基盤地図情報活用研究会)
小島誠一郎 (NPO 法人基盤地図情報活用研究会)
石尾志保美 (NPO 法人基盤地図情報活用研究会)

A-5 2010年チリ地震津波(1) (座長 牛山 素行) 15:35~16:35

- A-5-1 2010年チリ地震津波における中米の津波対応力の進展と課題
2007年ペルー地震津波との比較……………147
○ 荒木田 勝 (アジア防災センター)
細川 幸成 (独立行政法人国際協力機構)

- A-5-2 2010年2月28日チリ地震津波の際の
静岡県・岩手県における避難行動調査……………153
○ 牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)
栗田 幸将 (静岡大学防災総合センター)
高柳 夕芳 (静岡大学教育学部)

- A-5-3 チリ中部沿岸の地震による津波警報と住民の対応
アンケート調査からの考察……………159
○ 中森 広道 (日本大学文理学部社会学科)

- A-5-4 2010年2月チリ地震における釧路市民の避難意思決定要因に関する調査……165
- 加藤 史訓 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
 - 諏訪 義雄 (国土交通省国土技術政策総合研究所)

A-6 2010年チリ地震津波(2) (座長 矢守 克也) 16:45~18:15

- A-6-1 「2010年チリ中部沿岸を震源とする地震による津波」における市区町村の対応
—災害対策本部の運営を中心に— ……………171

- 黒田 洋司 ((財)消防科学総合センター)
- 小松 幸夫 ((財)消防科学総合センター)
- 齋藤 泰 ((財)消防科学総合センター)

- A-6-2 「2010年チリ中部沿岸を震源とする地震による津波」における市区町村の対応
—避難措置を中心に—……………177

- 小松 幸夫 ((財)消防科学総合センター)
- 黒田 洋司 ((財)消防科学総合センター)
- 齋藤 泰 ((財)消防科学総合センター)

- A-6-3 住民避難を誘発する社会対応の検討
—2010年チリ地震津波の避難実態から— ……………183

- 金井 昌信 (群馬大学 広域首都圏防災研究センター)
- 片田 敏孝 (群馬大学 広域首都圏防災研究センター)

- A-6-4 メディア・イベントとしての2010年チリ地震津波(1)
—リアリティ構築をめぐる構造のあらたな分析フレーム— ……189

- 矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- 近藤 誠司 (NHK 大阪放送局)
- 奥村与志弘 (人と防災未来センター)

- A-6-5 メディア・イベントとしての2010年チリ地震津波(2)
—NHKのテレビ報道におけるリアリティの綻び— ……………195

- 近藤 誠司 (NHK 大阪放送局)
- 奥村与志弘 (人と防災未来センター)
- 矢守 克也 (京都大学防災研究所)

- A-6-6 メディア・イベントとしての2010年チリ地震津波(3)
—主たるリアリティ・ステイクホルダーの対応分析— ……………201

- 奥村与志弘 (人と防災未来センター)
- 矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- 近藤 誠司 (NHK 大阪放送局)

B会場 (M804)

B-3 防災情報システム(4) (座長 秦 康範) 13:00~14:30

B-3-1 「防災情報マッシュアップサービス」の実践的取組みとその可能性……………207

- 加藤 孝明 (東京大学生産技術研究所)
- 小林 三昭 (JR 東日本コンサルタンツ)
- 四柳 照義 (GITA-JAPAN)
- 中村 仁 (東京大学生産技術研究所)

B-3-2 災害リスク情報の相互運用・二次利用の可能性と課題

ー第1回防災マッシュアップコンテストを通じてー……………213

- 白田裕一郎 ((独)防災科学技術研究所)
- 田口 仁 ((独)防災科学技術研究所)
- 長坂 俊成 ((独)防災科学技術研究所)

B-3-3 災害リスク情報を活用したリスクガバナンスの高度化

～第1回 e 防災マップコンテストを通じて～……………217

- 長坂 俊成 ((独)防災科学技術研究所)
- 白田裕一郎 ((独)防災科学技術研究所)
- 田口 仁 ((独)防災科学技術研究所)
- 李 泰榮 ((独)防災科学技術研究所)
- 須永 洋平 ((独)防災科学技術研究所)
- 岡田 真也 ((独)防災科学技術研究所)

B-3-4 住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(1)……………223

- 秦 康範 (山梨大学)
- 大山 勲 (山梨大学)
- 鈴木 猛康 (山梨大学)
- 佐々木邦明 (山梨大学)

B-3-5 住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(2)……………229

- 大山 勲 (山梨大学工学部土木環境工学科)
- 鈴木 猛康 (山梨大学工学部土木環境工学科)
- 秦 康範 (山梨大学工学部土木環境工学科)
- 佐々木邦明 (山梨大学工学部土木環境工学科)

B-3-6 住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(3)

情報システム連携の有効性検証の取り組みの紹介……………235

- 鈴木 猛康 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- 秦 康範 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- 大山 勲 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- 佐々木邦明 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- 深尾 嘉彦 (山梨県総務部消防防災課)

B-4 風水害(4) (座長 森山 聡之) 14:40~15:25

B-4-1 洪水氾濫からの避難に役立つハザードマップについての一考察……………241

- 岡山 和生 ((財)河川情報センター)

B-4-2 福岡市樋井川における市民共働治水について……………247

- 森山 聡之 (崇城大学)
- 島谷 幸宏 (九州大学)
- 山下 三平 (九州産業大学)
- 渡辺 亮一 (福岡大学)
- 伊豫岡浩樹 (福岡大学)
- 角銅久美子 (NPO 南畑ダム貯水する会)
- 山下 輝和 (NPO 南畑ダム貯水する会)

B-4-3 巨大台風襲来時における高潮災害の広域住民避難に関する研究……………251

- 児玉 真 ((株)IDA 社会技術研究所)
- 片田 敏孝 (群馬大学 広域首都圏防災研究センター)
- 桑沢 敬行 ((株)IDA 社会技術研究所)
- 浅野 和広 (国土交通省 木曽川下流河川事務所)

B-5 防災情報システム(5) (座長 宇田川 真之) 15:35~16:35

B-5-1 災害情報伝達における地域住民のインフォーマルな社会的関係に関する試論

—鹿児島県垂水市の事例をもとに—……………257

- 亀田 晃一 (鹿児島大学大学院人文社会科学研究科)

B-5-2 Twitter による災害情報収集伝達支援 ASP サービス「Tweet-Report」

防災気象情報とソーシャルメディア情報の融合による

「身近」で「実態」に即した「リアルタイム」な

地域防災インフラの提供……………263

- 横内 絢子 (一般財団法人日本気象協会)
- 田口 晶彦 (一般財団法人日本気象協会)
- 櫻井 康博 (一般財団法人日本気象協会)
- 森 和夫 (一般財団法人日本気象協会)
- 高森 泰人 (一般財団法人日本気象協会)
- 本間 基寛 (一般財団法人日本気象協会)

B-5-3 A Development of Disaster Information Systems using Social Media

～A potential to use Twitter～……………269

- Yoshiyuki (Disaster Prevention Research Center, Aichi
Yamamoto Institute of Technology)
- Norimitsu (Disaster Prevention Research Center, Aichi
Koike Institute of Technology)
- Kazuaki (Disaster Prevention Research Center, Aichi
Masaki Institute of Technology)

- B-5-4 聴覚障害者あて防災情報FAX製作の取組みについて……………271
- 宇田川真之 (人と防災未来センター)
 - 田中 淳 (東京大学総合防災情報研究センター)
 - 嘉田 眞典 (兵庫県立聴覚障害者情報センター)
- B-6 防災対策・計画(1) 地震災害 火山災害 (座長 鷹野 澄)**
16:45~18:15
- B-6-1 福島県における火山防災—磐梯山の臨時火山情報から10年の中で—……………273
- 佐藤 公 (磐梯山噴火記念館)
- B-6-2 建物内の地震観測と防災情報への活用……………279
- 鷹野 澄 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- B-6-3 地震情報を利用した安否確認システムの開発……………283
- 乗藤 雄基 (東京ガス株式会社 防災・供給部)
 - 猪股 渉 (東京ガス株式会社 防災・供給部)
 - 菊地 陽亮 (株式会社ティージー情報ネットワーク)
- B-6-4 地震発生後の道路状況を迅速に把握する取り組み……………289
- 長屋 和宏 (国土交通省国土技術政策総合研究所 地震防災研究室)
 - 高宮 進 (国土交通省国土技術政策総合研究所 地震防災研究室)
- B-6-5 広域災害時の医療情報と災害派遣医療チーム(DMAT)……………295
- 近藤 久禎 (国立病院機構災害医療センター)
 - 中山 伸一 (兵庫県災害医療センター)
 - 小井土雄一 (国立病院機構災害医療センター)
- B-6-6 災害時における避難所の情報収集に関する考察
～新潟県中越沖地震での事例を踏まえて～……………299
- 加藤 健 (防衛大学校公共政策学科)

10月23日(土) 午前 関西大学高槻ミュージックキャンパス

A会場 (M706)

A-7 伝承 災害報道(座長 井口 隆) 09:10~10:10

A-7-1 人道支援の報道記事の内容分析ーパダン沖地震を事例にー……………305

- 地引 泰人 (東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター)

A-7-2 災害写真が持つ意義と収集・提供を目指すアーカイブセンター構想

ー災害写真記録の収集と提供の
ナショナルセンターを目指してー……………307

- 井口 隆 (防災科学技術研究所 防災システム研究センター)
- 堀田 弥生 (防災科学技術研究所 防災システム研究センター)

A-7-3 被災経験や教訓の伝承による災害文化の形成

ー風化と忘却の相違に着目してー……………313

- 島 晃一 ((株)IDA社会技術研究所)
- 片田 敏孝 (群馬大学 広域首都圏防災研究センター)

A-7-4 災害の記録・記憶の継承と自然災害情報室の取り組み……………319

- 堀田 弥生 ((独)防災科学技術研究所 自然災害情報室)
- 井口 隆 ((独)防災科学技術研究所 自然災害情報室)

A-7-5 海外危機情報共有システムの実装とその展開

野村総合研究所におけるグローバル安否確認システム
の導入事例……………323

- 高森 要 ((株)野村総合研究所 総務部危機管理室)
- 乾 嘉宏 ((株)野村総合研究所 総務部危機管理室)

A-8 風水害(5) (座長 松尾 一郎) 10:35~11:50

A-8-1 2010年7月神戸市長田区での局所的な浸水被害について……………329

- 宇野 宏司 (神戸市立工業高等専門学校都市工学科)

A-8-2 平成20年8月末豪雨における被災者支援活動の展開

ー名古屋市での取組みを例にー……………333

- 蔡 垂功 ((元)大阪市危機管理室)

- A-8-3 平成 21 年台風 18 号における危機感共有の試行と減災効果の検証
 ～名古屋水防災情報共有推進連携会議の取組と
 社会実験の実施状況について～……………339
- 小島 優 (国土交通省)
 - 牧原 康隆 (気象庁)
 - 武居 信介 (中京テレビ放送)
 - 松尾 一郎 (環境防災総合政策研究機構)
 - 半田 修広 (名古屋市)
- A-8-4 水害時の情報に関する一考察(2009年台風9号による水害を事例として)……………345
- 宮川 勇二 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)
 - 田中 淳 (東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター)
- A-8-5 台風 9 号時における佐用町久崎地区自治会による防災行動の調査
 ～減災社会形成モデル研究のうち住民防災組織による
 防災行動の調査・研究～……………347
- 松尾 一郎 (環境防災総合政策研究機構)
 - 田中 淳 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

B 会場 (M804)

B-7 防災情報システム(6) (座長 滝澤 修) 09:10～10:10

- B-7-1 リアルタイム地震情報配信サービスについての特色
 ～防災システムとしての地震ネット(jishin.net)の進化～……………353
- 菊地 陽亮 ((株)ティージー情報ネットワーク)
 - 本庄 政晴 ((株)ティージー情報ネットワーク)
 - 乗藤 雄基 (東京ガス株式会社)
- B-7-2 緊急地震速報と直下地震検知器を地震時の動画で検証する……………357
- 山口 耕作 ((株)シグネット)
- B-7-3 高輝度フルカラーLEDを用いた非常時通信システムの提案……………363
- 原山 拓士 (和歌山大学大学院 システム工学研究科)
 - 村吉 翔大 (和歌山大学 システム工学部)
 - 塚田 晃司 (和歌山大学 システム工学部)
- B-7-4 半径500mに放送が可能な特定小電力FM放送機の開発と
 防災訓練における検証……………369
- 滝澤 修 (独立行政法人情報通信研究機構 防災・減災基盤技術グループ)

B-8	原子力災害 大規模事故 地震災害(座長 中村 功)	10:35~11:50
B-8-1	伊豆東部の地震活動の予測	375
	○ 横田 崇 (気象庁地震予知情報課)	
	宮岡 一樹 (気象庁地震予知情報課)	
	鈴木 良典 (文部科学省)	
	北川 貞之 (文部科学省)	
	島崎 邦彦 (東京大学)	
B-8-2	原発耐震における安全と安心	379
	○ 伯野 元彦 (名誉会員)	
B-8-3	大規模事故発生時に救援活動等に 参加した市民に対する直後から必要なストレスケア ～2005年JR福知山線脱線事故の事例分析から～	385
	○ 岡野谷 純 (日本ファーストエイドソサエティ)	
	菅 磨志保 (関西大学)	
	中川 和之 (時事通信)	
B-8-4	イタリア・ラクイラ地震と防災体制のあり方	391
	○ 中村 功 (東洋大学)	
B-8-5	伊ラクイラ地震での地震学者捜査事件	397
	○ 大木 聖子 (東京大学地震研究所)	
	瀬瀬 一起 (東京大学地震研究所)	
	桑原 央治 (東京大学地震研究所)	
	泊 次郎 (東京大学地震研究所)	